

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯灯設置工事）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町						
補助事業の成果の目標	既設灯のLED防犯灯への取替及び地域住民からの要望を踏まえたLED防犯灯の増設を計画的に進め、町内全域の犯罪や事故を抑止し、安全で安心なまちづくりと住民生活における利便性の向上を図る。						
補助事業の内容	防犯灯新設・取替（新設8箇所 改修108箇所）						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和2年度						
事業費及び交付金額		平成29年度まで	平成30年度	令和元年度	令和2年度		計
	事業費	円 12,416,036	円 1,298,836	円 2,805,000	円 4,814,235	円	円 21,334,107
	交付金額	円 12,150,000	円 1,296,000	円 2,600,000	円 4,750,000	円	円 20,796,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>防犯灯の新設・取替後、夜間における視認性や照度などに問題がないことを現地調査で確認するとともに、近隣住民への聞き取りを行ったところ、新設箇所は「児童・生徒の帰宅時における安全確保に有効である。」という意見が、改修箇所では「以前より明るくなり、夜間歩行の安全が確保され、防犯上も有効」という意見も寄せられ、事業の目標に対する成果が確認できた。</p> <p>地域住民への周知については、鋼管柱に貼付するラベルへの記載や町の広報誌及び町のホームページに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを掲載し住民へ周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：大和地区排水路）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字新田						
補助事業の成果の目標	<p>当排水路は、地域住民の重要な排水路であるが、排水断面が小さく勾配も緩いため排水が常時水路に滞留し、臭気等で地域住民の生活に支障をきたしている。</p> <p>また、豪雨時には当排水路上流の田畑への溢水がみられ苦情が寄せられている。</p> <p>このため、排水路整備工事を実施し、排水状況の改善を図り地域住民の生活基盤の整備を図る。</p>						
補助事業の内容	排水路整備工事 延長L=210.0m						
補助事業の始期及び終期	令和元年度 から 令和2年度 まで						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度				計
	事業費	円 10,007,658	円 17,187,151	円			円 27,194,809
	交付金額	9,329,000	16,910,000				26,239,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全区間の排水路整備工事が完了となり、排水路断面・勾配等が改善され、地域住民へヒアリングを実施したところ「排水路勾配が解消され、常時滞留していた生活排水・土砂も無くなり、生活が大変快適になった」との意見が寄せられ、地域住民の環境衛生施設の改善に寄与することが出来た。また、施工完了後の大雨時に現地にて目視確認を行ったところ、滞りなく排水している状況を確認できた。</p> <p>事業の周知については、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：学校給食備品更新）整備事業						
補助事業者名	新富町長 小嶋崇嗣						
実施場所	宮崎県児湯郡新富町富田東一丁目70番地ほか						
補助事業の成果の目標	<p>現在富田小学校、富田中学校及び新田中学校の牛乳保冷庫並びに新田小学校給食調理場の冷凍庫に使用されているR-22冷媒はモントリオール議定書の定めにより2020年に全廃となるため、今後は冷媒の入手困難により故障した際には学校給食の安定した供給が危惧される。</p> <p>学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に重要な役割を担うものであるため、牛乳保冷庫3台及び冷凍庫2台を更新し、学校給食の安定した供給に資する。</p>						
補助事業の内容	物件購入 牛乳保冷庫3台、冷凍庫2台						
補助事業の始期及び終期	令和2年度						
事業費及び交付金額		令和 2 年度					計
	事業費	円 5,266,800	円	円	円	円	円 5,266,800
	交付金額	5,266,000					5,266,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全体事業完了後、利用する調理員、学校教諭及び栄養教諭等から意見等を聴取したところ、温度がデジタルで表示されるようになったため、温度管理が容易になったとの声が聞かれ、学校給食の安定的な供給に支障がないか確認した。</p> <p>町ホームページで「特定防衛施設周辺調整交付金事業」で整備した旨を掲載し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：塚原地区排水路）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字新田						
補助事業の成果の目標	当排水路は、地域住民の重要な排水路であるが、排水断面が小さく豪雨時には当排水路上流の宅地への溢水や床下浸水等、被害が起こっている状況である。 このため、排水路整備工事を実施し、排水状況の改善を図り地域住民の生活基盤の整備を図る。						
補助事業の内容	排水路整備工事 延長L=168.0m						
補助事業の始期及び終期	令和元年度 ～ 令和2年度						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度				計
	事業費	円 10,986,996	円 57,648,367	円			円 68,635,363
	交付金額	10,830,000	57,417,000				68,247,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	排水路断面・勾配等について全区間の工事が完了したため、地域住民へヒアリングを実施したところ「大雨時は水が溢れて怖かったが水路が新しくなって安心した」との意見が寄せられた。また、施工完了後の大雨時に現地にて目視確認を行い、排水状況が改善していることを確認できたため、地域住民の生活環境向上に繋がったと評価する。 工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し、事業の周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（環境衛生に関する事業：し尿処理施設監視システム更新）						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	児湯郡新富町大字日置965番地12						
補助事業の成果の目標	<p>本施設は、平成20年4月に稼働を開始し、設備や機器の定期整備等を行い施設の機能保全に努めているところであるが、供用開始から11年以上が経過し、本施設の基幹的システム(WindowsSV2003)が劣化しており更新が必要となっている。</p> <p>このことから、監視システム機器の更新を行うことで、地域住民に継続的に安心と安定的な生活環境を提供することを目標とする。</p>						
補助事業の内容	機器更新業務 監視システム 一式						
補助事業の始期及び終期	令和2年度						
事業費及び交付金額		令和 2年度					計
	事業費	円 28,820,000	円	円	円	円	円 28,820,000
	交付金額	円 28,820,000					円 28,820,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>し尿処理施設監視システム機器の更新を行ったことでシステムが安定したほか、監視システムの更新後に施設の職員に聞き取りを行ったところ、「OS等の更新により、データの管理がしやすくなり、作業効率が向上した」との報告も得られ、事業の目標に対する成果を確認することができた。</p> <p>地域住民への周知については、町のホームページや町の広報誌に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で実施した旨を掲載し周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	新田原飛行場関連公共施設（消防に関する施設：消防用ホース購入）整備事業						
補助事業者名	新富町長 小嶋崇嗣						
実施場所	児湯郡新富町						
補助事業の成果の目標	消防活動において使用している消防用ホースは火災を含む有事の際に消防団員にとって必要不可欠なものであるが、経年劣化、訓練及び消防活動により老朽化が目立っている。 このため、消防用ホースを更新し、円滑な消防・防災活動の体制確保し、地区住民の安心安全を確保する。						
補助事業の内容	消防用ホース38本購入						
補助事業の始期及び終期	令和3年1月から令和3年2月まで						
事業費及び交付金額		2年度					計
	事業費	円 1,463,000	円	円	円	円	円 1,463,000
	交付金額	1,400,000					1,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホースのメス金具側ジャケット部に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」で整備した旨を記載した。 ・町広報誌等で記載する際、可能な限り特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を記載した。 						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（防災に関する事業：防災資機材整備事業）						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町						
補助事業の成果の目標	自主防災組織に防災資機材を整備し、災害発生時の住民による初期活動と、避難所運営を支援する。						
補助事業の内容	防災資機材一式						
補助事業の始期及び終期	令和2年度						
事業費及び交付金額		2年度					計
	事業費	円 2,813,316	円	円	円	円	円 2,813,316
	交付金額	2,813,000					2,813,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全体事業完了後、① 防災資機材に貼付するラベルに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」を記載した。</p> <p>② 町広報誌に防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により防災資機材を整備した旨を掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共施設（消防に関する施設：第15部消防機械倉庫・建築工事）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字日置						
補助事業の成果の目標	第15部消防機械倉庫は、昭和59年（築36年）に建築され、消防団第15部の活動拠点として利用されているが、施設の老朽化により錆びや腐食などが発生するなど不具合が生じている。今回、これらの不具合を解消し、消防防災拠点として地区住民の安心安全を確保するため新築を行う。						
補助事業の内容	消防機械倉庫 鉄骨2階建 120㎡						
補助事業の始期及び終期	令和2年度						
事業費及び交付金額		2年度					計
	事業費	円 33,569,800	円	円	円	円	円
	交付金額	33,000,000					33,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>全体事業完了後、利用する消防団員へアンケート調査を実施し、機械器具の整理整頓がしやすくなり、災害時の詰所としてもスペースが広がったことから、利便性が向上されたことを確認した。</p> <p>消防機械倉庫の外壁に「特定防衛施設周辺調整交付金事業」で整備した旨を記載し、町広報誌にも掲載して地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：災害時等照明設備更新）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上富田7291						
補助事業の成果の目標	大規模災害の発生が懸念される中で、消防団は日頃から非常時における消火活動、安全避難誘導、効率的な物資搬入等のために訓練を行っているが、現在庁舎屋上に設置されている照明器具は、照度が低く、照らす範囲も狭いため、消防団の夜間訓練の際に支障をきたしている。 訓練する消防団員にとっては、夜間でも路面状況や白線等の状況が分かることは非常に重要で、十分な照明設備のない中での訓練は怪我する危険性が高く、怪我防止対策に苦慮している状況である。 このため、照明器具を更新し、消防団の夜間訓練及び大規模災害時の防災拠点の環境の向上を図る。						
補助事業の内容	照明設備更新 LED投光器 5台						
補助事業の始期及び終期	令和2年度						
事業費及び交付金額		2年度					計
	事業費	円 3,080,000	円	円	円	円	円 3,080,000
	交付金額	3,080,000					3,080,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全体事業完了後、利用する消防団員へアンケート調査を実施し、「点灯までの時間が短縮され、照射範囲が広がった」「訓練がしやすくなった」等の回答から、不具合の解消・利便性の向上が確認できたため、夜間訓練や防災拠点としての環境も向上したと評価する。 照明器具及びスイッチ部に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」で整備した旨を記載した。 町広報誌に、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を掲載した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：中村～竹渕線）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字新田						
補助事業の成果の目標	町道中村～竹渕線は中村地区集落と竹渕地区集落を結ぶ生活道路であり、一ツ瀬川左岸堤防を経て隣接の宮崎市へ渡る一ツ瀬橋に通じているため交通量が多い。しかし、現況車道幅員が約2.4～3.8mと狭隘であるうえ、路上に電柱が設置されているため車両の離合が困難である。また、既設側溝が舗装面より高くなっており、集水能力が低いことに加え、通行に支障をきたしている。このため、改良拡幅工事（幅員W=4.00m）を実施し、交通状況及び道路排水の改善を行い地域住民の生活基盤整備を図る。						
補助事業の内容	道路改良工事 延長L=315.0m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和2年度						
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	事業費	円 5,940,000	円 5,515,000	円 1,548,141	円 30,425,809	円 22,638,808	円 66,067,758
	交付金額	5,940,000	5,515,000	1,450,000	28,000,000	22,000,000	62,905,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の改良工事が完了となり、車両通行による現地確認を実施すると共に、供用開始後に地域住民へのヒヤリングを実施した結果、【既設側溝の改修や路上の電柱等の影響による狭隘な部分などが解消され安全に通行できる】などの声が聞かれ、地域住民の交通環境の改善に寄与することが出来た。事業の周知においては、地域住民説明会の際に交付金予算の活用と工事内容の説明を行い、工事施工時には、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：江梅瀬～西田線）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字下富田						
補助事業の成果の目標	町道江梅瀬～西田線は、沿線に指定緊急避難場所があり地域住民の重要な避難道路となっているが、現在の道路平均幅員がW=4.0mと狭隘な為、車両の離合が困難でありまた、避難時の歩行者の安全の確保ができず大変危険な状況である。 このため、歩道の新設を実施し、交通状況の改善と歩行者の安全の確保を目標とする。						
補助事業の内容	道路改良工事 延長L=372.0m						
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和2年度						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度	令和2年度			計
	事業費	円 4,785,000	円 25,128,488	円 27,716,112			円 57,629,600
	交付金額	4,700,000	24,979,000	27,000,000			56,679,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の改良工事が完了となり通行確認など実施し、狭隘な部分も改善され車両の離合も可能となった。また、供用開始後、利用者及び近隣住民にヒヤリングを行った結果、【歩道が整備されたことから歩行者の安全も確保された。今後避難の際の安全が確保される。農耕車と車両の離合が容易になった。】などとの意見が寄せられ、地域住民の交通環境の改善に寄与することが出来た。事業の周知においては、地域住民説明会の際に交付金予算の活用と工事内容の説明を行い、工事施工時には、工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し事業の周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						